

主催：高知市雇用創出促進協議会

当センターでは、機械部品の形状を測定する装置として、三次元測定装置がよく利用されています。高品質、高精度が要求される機械部品は、このような測定装置での検査が必要となります。そこで、接触式と非接触式の2種類の三次元測定装置それぞれの長所短所の説明を行い、用途に合わせた活用方法について研修を実施しました。

## 研修内容

### 座学・実習

#### 1. 接触式三次元測定研修

測定原理と基本操作の説明  
座標系の設定、各種測定コマンドの説明  
簡単な測定実習  
倅い測定の基本操作について  
倅い測定実習



#### 2. 非接触三次元測定研修

測定原理と基本操作の説明  
CCDカメラによる測定実習  
測定データのマッチング方法の説明  
測定データの処理方法の説明



研修の様子

## 参加者の声

「三次元測定を目的にしていたので、もう少し長い時間の方がいい」、「研修にやりがいがあった」、「今後使用する予定がある」等の意見をいただきました。

### 研修概要

研修担当者 山本 浩、村井 正徳、島本 悟  
参加人数 4名

日 程 11月24日～12月8日（5日間）  
場 所 高知県工業技術センター



研修に使用した装置は競輪の補助を受けて導入しました。